

## 低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2020年 10月 1日

(提出先)  
横浜市長

大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル2F

株式会社アースインフィニティ  
氏名  
代表取締役 濱田 幸一

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

### 1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社アースインフィニティ 代表取締役 濱田 幸一		
主たる事業所の所在地	大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル2F		
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		
供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）		
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	小売電気事業、小売ガス事業、発電事業、電子機器及び電気製品等の製造・販売・卸業、電気工事業、国内・国際電話通信業、医療機器等の製造・販売・卸業、美容用品及び化粧品等の製造・販売・卸業、生活サポート事業、住宅サービス事業、電気買取事業、上記に付帯する一切の事業  (発電事業は予定であり、現在行っておりません。)		
担当部署 連絡先	事業所名	株式会社アースインフィニティ	
	部署名	営業部営業二課	
	電話番号	06-4797-7522	
	E-mail	earth-eigyout@earth-infinity.co.jp	

### 2 対象年度

提出年度 2020年度  
(当年度)

### 3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

自社発電設備を持たないことから、二酸化炭素排出係数の低い発電事業者からの調達割合を高めていきます。具体的には再生可能エネルギー、未利用エネルギー（廃棄物発電等）の電源構成割合が高い発電事業者からの調達を一定量確保致します。

4 推進体制

営業部がグリーン電力証書の定期購入、二酸化炭素排出係数の低い発電事業者からの電源開発及び調達をおこなう。

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	窓口にて閲覧 閲覧場所：株式会社アースインフィニティ 住所：大阪市北区堂島浜2-2-28堂島アクシスビル2F 閲覧可能時間：月～金 9：30～17：30

6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	自社ホームページにて公表

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

需要家個別の会員ページにて使用電力量を確認。  
 電気の使い方、使用量を意識してもらい省エネ、節電の啓発につなげています。

RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 一部対応可 <input checked="" type="radio"/> 対応不可
	備考	

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	2018年度	2019年度	2020年度	2025年度
	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]
基礎排出係数	0.533	0.632	0.6	0.500
把握率 (%)	100	100	—	—
調整後排出係数	0.526	0.637	0.550	0.485
メニュー別排出係数				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由	関西エリアにて火力発電所由来の電源調達があったため			
排出係数の抑制措置のための取組	自社発電設備を持たないことから、二酸化炭素排出係数の低い発電事業者からの調達割合を高めていきます。具体的には再生可能エネルギー、未利用エネルギー（廃棄物発電等）の電源構成割合が高い発電事業者からの調達を一定量確保致します。			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	2018年度	2019年度	2020年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	計画値 [t-CO <sub>2</sub> ]
全国総量	62449	77475	80850
市内	147	147	147

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	2018年度		2019年度	
	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)	129210	—	149149	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)	2778	2.15	2944	1.97
太陽光				
風力				
水力				
その他 ( )				
再生可能エネルギー (FIT電気)	5984	4.63	5503	3.69
太陽光				
風力				
水力				
その他 ( )				
未利用エネルギー	731	0.57	0	0.00

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	2018年度		2019年度	
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]		実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	
削減相当量		0		0

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

<p><b>【取り組み】</b>          自社発電設備を持たないことから、二酸化炭素排出係数の低い発電事業者からの調達割合を高めていきます。具体的には再生可能エネルギー、未利用エネルギー（廃棄物発電等）の電源構成割合が高い発電事業者からの調達を一定量確保致します。</p> <p><b>【実施状況】</b>          排出係数の低い発電事業者からの調達を進めましたが、価格面で折り合わず前年度の目標達成にはつながりませんでした。次年度より非化石証書、Jクレジットの活用を予定しております。</p>
---

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

<p>事業活動に伴う取り組みとして、節電が排出削減に繋がることから、昼休みや休憩時間等は消灯し、夏の冷房需要期にはクールビズを採用することで節電に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車からの温室効果ガス削減のため、社用車の利用を減らし公共交通機関を利用していきます。</li> </ul>
--